



2022
May

2022年5月



Risk Analysis Research Center

CONTENS

- 02 1. 今月のトピックス
- 02 2. 各プロジェクトからのお知らせ
 - 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト
 - データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト
 - リスク基盤数理プロジェクト
 - 環境情報に関する統計解析手法開発プロジェクト
 - 地震予測解析プロジェクト
 - 資源管理リスク分析プロジェクト
- 03 3. 新任教員の紹介
- 03 4. センター事務局からのお知らせ

1. 今月のトピックス

新年度が本格的に始動して、リスク解析戦略研究センターでは、金融プロジェクトに1名、資源プロジェクトに1名、地震国プロSTAR-Eプロジェクトに1名の合計3名の新しい特任の先生を迎えております。3名の自己紹介記事は本号の巻末に掲載しております。どうぞご一読ください。

(所内責任者：南 和宏 教授)

2. 各プロジェクトからのお知らせ

■ 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト

- 3月 高度信用リスクコンソーシアムの活動再開に伴い、2020年3月末の企業信用状態および融資実績の基礎分析についてデータ提供元の各銀行に対して報告会を行いました。今後、銀行側からの要望に伴い、年次報告書を作成することとなりました。

(所内責任者：山下 智志 教授)

■ データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト

- 3月29日 「アジア諸国世帯統計マイクロデータの利活用」オンライン研究会を開催しました。
- 5月下旬 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムの運営委員会の開催を予定しています。運営委員会の主な議案は、今年度開催するワークショップとシンポジウムの内容と構成、NewsLetter 第2号の特集記事等です。
- 9月に開催予定(成蹊大学/ハイブリット)の統計関連学会連合大会の企画セッションの公募に対し、「公的統計マイクロデータ利活用の現状と課題」をテーマとする企画を提案しました。
- 11月 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムのワークショップ及びシンポジウムの開催を計画しています。

■ リスク基盤数理プロジェクト

- コロナ禍により順延を重ねている、MOUに基づく国際集会「3rdTouhokuU-UUIm-ISM Joint Workshop」の開催時期として、本年10月を第一候補として検討中です。

(所内責任者：栗木哲教授)

■ 環境情報に対する統計解析手法開発プロジェクト

- 2月28日 「情報科学による環境化学分野の問題解決と新展開に関する研究集会(研究代表者：橋本俊次(国立環境研究所室長、統計数理研究所客員教授)」を、オンラインで開催しました。参加者は35名でした。本研集会は国や地方の環境研究所・環境研究センターの職員と大学教員が、ノンターゲット分析と呼ばれる様々なイベント(事故、災害)時に予期せず発生する化学物質の早期発見手法の開発を目指しています。

(所内責任者：金藤 浩司 教授)

■ 地震予測解析プロジェクト

- 3月31日 庄建倉准教授が、イギリスCardiff大学にてHawkes点過程に関する招待講演をオンラインで行いました。Hawkes点過程の提案者Alan G. Hawkes教授も出席しており、講演後は、庄建倉准教授との交流も行われました。
- 4月18日 第1回Star-Eプロジェクト勉強会が開催されました。
- 4月26日 第83回統計地震学セミナーを開催しました。講演者は統計数理研究所のPetrillo, Giuseppe先生(元カンパニア大学"Luigi Vanvitelli", ITALY・研究員)でした。

(所内責任者：庄建倉准教授・尾形良彦名誉教授)

https://www.ism.ac.jp/~ogata/Ssg/ssg_statsei_seminars.html

■ 資源管理リスク分析プロジェクト

● 昨年度中は、コロナ禍の中、複数の国際ワークショップ、統数研インターンシップ、FORMATH 国際シンポジウムを無事開催することが出来ました。現在は今年度の開催に向けての企画立案中です。

(所内責任者：吉本敦教授)

3. 新任教員の紹介

リスク解析戦略研究センターに 4 月 1 日付けで着任した新任教員をご紹介します。

小幡 進午 特任助教

資源管理リスク分析プロジェクト

4 月 1 日付けで統計数理研究所リスク解析戦略研究センターに着任いたしました、小幡進午と申します。専門は森林を中心とした自然資源管理に関わる研究です。これまでは、デジタル航空写真から生成した点群データやマルチスペクトル衛星画像と国家森林インベントリデータを結合し、機械学習のアルゴリズムを用いて森林面積・蓄積を広域的に推定する研究に取り組んできました。今後は森林測量にとどまらず、森林の成長モデルの推定や環境や生態系に配慮した森林経営の最適化問題に関わる研究にも取り組んでいく所存です。皆様から多くのことを学ばせていただきながら研究を展開し、統計数理研究所に少しでも貢献できればと考えています。何卒よろしく願いいたします。

中西 正 特任研究員

金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト

4月1日付で統計数理研究所リスク解析戦略研究センターに着任いたしました中西正と申します。専門は計量経済学と金融政策で、日本の金融政策について実証分析を行うと同時に、構造ベクトル自己回帰モデルの構造誤差項に非正規性を仮定した場合の研究を行ってきました。今後はその研究をパネル構造自己回帰モデルに応用する研究、およびその手法を用いて主要先進国の経済政

策の発展途上国に対する波及効果分析を行ってこうと考えております。

皆様と一緒に研究できる日を心待ちにしております。

何卒よろしく願い申し上げます。

熊澤 貴雄 特任准教授

地震予測解析プロジェクト

4月1日付けで特任教員に着任しました熊澤貴雄と申します。

統計モデルの適用と改良を通して地震活動の理解と確率予測研究に取り組んでいます。地震の発生とその連鎖過程は地殻内の多様な物理現象が相互に影響し合う複雑な過程であるので、統計学的なアプローチ無しには発生機序の一般的パターンを捉えることが難しいと考えられます。現在取り組んでいる課題ではホークス型モデルの一種である ETAS モデルを拡張し、発生パターンの背後にある時事刻々と場所ごとに変動するパラメータ変動の特徴を理解することで予測的研究への応用を考えております。何卒よろしく願いいたします。

4. センター事務局からのお知らせ

● 4 月のリスクセンター運営会議の議題

- ・ リスクセンター PD の新規募集について
- ・ 本年度予算について
- ・ 今年度スケジュールについて
- ・ 各プロジェクトからの報告
- ・ その他

- 次回の会議は 2022 年 5 月 18 日 (水) 11:00 ~ の予定です。

2022/5/2